

邓来送 刘荣禄 著

实用中药炮制学



中国中医药出版社

实用中药炮制学

邴来送 刘荣禄 著

中国中医药出版社

(京) 新登字025号

内 容 提 要

《实用中药炮制学》是全国著名老中药师邓来送和刘荣禄的专著，本书总结了作者从事中药40多年的炮制经验。总论部分论述了中药炮制的起源和发展、炮制的基本理论和操作方法；各论部分介绍了316味常用中药的具体炮制方法。

本书可供医院中药房、药材公司、中药店、制药厂的中药工作者及医药院校中药专业师生和药农参考。

实用中药炮制学
邓来送、刘荣禄 著

中国中医药出版社出版
(北京市东城区新中街11号)

邮编 100027 电话 4652210 电挂 3406

新华书店科技发行所发行通县印刷厂印刷

787×1092 32开本 6.875印张 151千字

1993年12月第1版 1993年12月第1次印刷

印数0001—4000册

ISBN 7-80089-266-2/R·267 定价：5.500元

1 0 2 7 0 0 0 0



鄧來送劉榮祿著

實用中藥炮製學

許之六



中药炮炙学是我国古代的化学，并经
临床反复证明是科学的，应加以整理
提高，同时充分利用现代科技使之
更好地适应现代制药工业生产的
需要。

祝

实用中药炮炙学 出版

王绵之 癸酉仲夏 北京



祝念黃用中藥炮製學之出書

百藥生長見地利，
四時炮製奪天工。

李今庸題



器非仲夏

北京实用中药炮制学出版社

因药殊制，一定之方；

因病殊制，变化之用。

陈绪编



癸酉仲夏

前 言

药，是医的作战武器，所以医与药是互相依存、绝对不可分割开的。几千年来，祖国医药在人民与疾病的斗争中，发挥了巨大的作用，保障了整个民族的健康，因此中药学在我国医学史上占着很重要的地位。笔者在40多年从事中医药工作实践中，深刻体会到中药炮制质量的重要。中国药物的修治，创始很早。相传神农尝百草，一日而遇七十毒，由是就使人民对药物的使用深为注意。雷公的炮制法，开辟了后世药物修治的道路，其炮制药歌云：“芫花本利水，非醋不能通……地榆医血药，连梢不住红。”在这几句话里，可以体会到中药必须加以修治和炮制，否则不独无益于病，相反的还能有害于人。炮制方法是否得宜，会直接影响药物性能和疗效。

为了继承和发扬中药炮制这一宝贵的遗产，确保用药安全有效，特将从师学习的经验，参考有关书籍，编写成《实用中药炮制学》，曾在市卫校、中药进修班讲课后，由市科委及有关报刊内部印刷后，得到湖北、广东、山东、江西、四川、安徽、辽宁、河北、天津、上海等省、市有关单位和个人来信索取，内部印刷三千册，全部销完。许多读者赞誉此书“对提高中药质量和中药专业职工队伍的素质，培养中药事业的接班人起了很好的作用，真是中药炮制实用的好教材”。为了满足广大中药职工要求，特公开出版。

全书分总论、各论两部分，总论主要参考高等院校中药炮制教材，介绍中药炮制的起源和发展、炮制的意义和目的、

炮制的依据及其对药物成分的影响、炮制的常用辅料、药物的贮存、炮制的古今分类方法等知识,着重介绍现代炮制常用法,即修制、切制、水制、火制、水火共制和其他制法。各论介绍前人积累下来的经验和我们在工作中所得的体会,具体介绍三百多种常用中药炮制的方法。本书在编写过程中,得到台湾中国医药学院董事长陈立夫先生题写书名,中国中医药学会副会长、北京中医学院教授王绵之,湖北省中医学会理事长、湖北中医学院教授李今庸,湖北省中药专业委员会主任陈绪纶教授等关怀和指导,并为本书题词,在此向他们表示崇高的谢意。

由于时间仓促,工作繁忙,难免有不妥之处,敬请各位同仁赐教,以便进一步修订提高。

编著者

1993年3月

目 录

总 论

第一章	炮制的起源和发展	1
第二章	炮制的意义和目的	5
第三章	炮制的作用	7
第四章	炮制过程中的注意事项	20
第五章	药物的贮存	22
第六章	炮制的分类方法	24
第一节	修制	26
第二节	切制	27
第三节	水制法	32
第四节	火制法	35
第五节	水火共制法	42
第六节	其他制法	44

各 论

第七章 植物类

第一节 根及根茎类

1. 党参	47	6. 太子参	49
2. 明党参	48	7. 北条参	50
3. 丹参	48	8. 沙参	50
4. 玄参	49	9. 竹节参	51
5. 茜参	49	10. 三七	51

11. 黄精	52	41. 骨碎补	87
12. 玉竹	52	42. 山药	68
13. 何首乌	53	43. 天麻	68
14. 地黄(附熟地、生地)	53	44. 川芎	69
15. 射干	54	45. 藜本	70
16. 苍术	55	46. 黄芪	70
17. 桔梗	55	47. 大黄	71
18. 白术	56	48. 甘草	72
19. 黄药子	56	49. 山豆根	72
20. 白药子	56	50. 半夏(附:京半夏、清半夏、 姜半夏、盐半夏、半夏 曲)	73
21. 当归	57	51. 附子	75
22. 川贝母	58	52. 川乌	76
23. 浙贝母	58	53. 草乌	77
24. 伊贝母	59	54. 白附子	77
25. 百合	59	55. 天南星(附:胆南星)	78
26. 薤白	60	56. 千年健	79
27. 山慈菇	60	57. 北豆根	80
28. 麦门冬	61	58. 白芍	80
29. 天门冬	61	59. 赤芍	91
30. 木香	62	60. 川牛膝	81
31. 川木香	62	61. 怀牛膝	82
32. 青木香	63	62. 糯稻根	82
33. 广防己	63	63. 白藜	83
34. 生姜	63	64. 白前	83
35. 干姜	64	65. 白薇	84
36. 姜黄	64	66. 天花粉	84
37. 莪术	65	67. 白头翁	85
38. 郁金	66	68. 天葵子	85
39. 高良姜	66		
40. 山柰	67		

69. 远志	85	93. 独活	98
70. 知母	86	94. 羌活	98
71. 香附	86	95. 常山	98
72. 芦根	87	96. 百部	99
73. 续断	88	97. 龙胆草	100
74. 白茄根	88	98. 葛根	100
75. 白茅根	89	99. 乌药	101
76. 苎麻根	89	100. 三棱	101
77. 延胡索	89	101. 草薢	102
78. 茜草	90	102. 紫菀	102
79. 巴戟天	90	103. 白及	103
80. 甘遂	91	104. 升麻	103
81. 防风	92	105. 秦艽	104
82. 泽泻	92	106. 黄芩	104
83. 黄连	93	107. 胡黄连	105
84. 威灵仙	93	108. 板蓝根	105
85. 商陆	94	109. 柴胡	106
86. 地榆	94	110. 银柴胡	106
87. 贯众	95	111. 前胡	107
88. 白芷	95	112. 大蓟	107
89. 仙茅	96	113. 虎杖	108
90. 藜芦	96	114. 小蓟	108
91. 漏芦	97	115. 土茯苓	109
92. 狗脊	97	116. 藕节	109

第二节 全 草 类

1. 瞿麦	109	6. 麻黄根	112
2. 扁蓄	110	7. 细辛	112
3. 紫苏叶	110	8. 茵陈	113
4. 紫苏梗	111	9. 青蒿(附: 青蒿梗)	113
5. 麻黄	111	10. 马鞭草	114

11. 徐长卿.....	114	20. 木贼草.....	118
12. 鹅不食草.....	114	21. 荆芥.....	119
13. 半边莲.....	115	22. 藿香(附: 藿香梗).....	119
14. 半枝莲.....	115	23. 石斛.....	120
15. 莱菔菜(附: 莱菔子).....	115	24. 金钗石斛.....	120
16. 益母草(附: 茺蔚子).....	116	25. 肉苁蓉.....	121
17. 谷精草(附: 谷精珠).....	117	26. 锁阳.....	121
18. 佩兰.....	117	27. 刘寄奴.....	122
19. 泽兰.....	118		

第三节 叶 类

1. 侧柏叶.....	122	7. 寻骨风.....	125
2. 枇杷叶.....	123	8. 石楠叶.....	125
3. 艾叶.....	123	9. 苦丁茶.....	126
4. 番泻叶.....	124	10. 荷叶.....	126
5. 淡竹叶.....	124	11. 石韦.....	127
6. 淫羊藿.....	125	12. 桑叶.....	127

第四节 花 类

1. 金银花.....	127	5. 蒲黄.....	129
2. 芫花.....	128	6. 款冬花.....	130
3. 槐花(附: 槐米、槐角).....	128	7. 菊花.....	130
4. 旋覆花.....	129	8. 夏枯草.....	131

第五节 果 核 类

1. 吴茱萸.....	131	7. 金樱子.....	135
2. 陈皮.....	132	8. 连翘.....	135
3. 青皮.....	132	9. 瓜蒌子.....	135
4. 枳实.....	133	10. 诃子(附: 诃子肉).....	136
5. 枳壳.....	134	11. 榧子.....	137
6. 木瓜.....	134	12. 山茱萸.....	137

13. 枸杞子.....	137	35. 砂仁.....	148
14. 乌梅.....	138	36. 益智.....	148
15. 山楂.....	138	37. 芥子.....	149
16. 桃仁.....	139	38. 槟榔.....	149
17. 杏仁.....	140	39. 荔枝核.....	150
18. 使君子.....	140	40. 木蝴蝶.....	150
19. 白果.....	141	41. 黑故子.....	151
20. 酸枣仁.....	141	42. 刺蒺藜.....	151
21. 芡实.....	142	43. 车前子.....	152
22. 薏苡仁.....	142	44. 苍耳子.....	152
23. 莲子.....	143	45. 梔子.....	152
24. 莲房.....	143	46. 菟丝子.....	153
25. 谷芽.....	143	47. 草决明.....	154
26. 麦芽.....	144	48. 沙苑子.....	154
27. 小茴香.....	144	49. 牵牛.....	154
28. 白扁豆.....	145	50. 蔓荆子.....	155
29. 巴豆.....	145	51. 女贞子.....	155
30. 马钱子.....	146	52. 五味子.....	156
31. 火麻仁.....	146	53. 牛蒡子.....	157
32. 大胡麻.....	146	54. 葶苈子.....	157
33. 草果.....	147	55. 冬瓜子.....	157
34. 肉豆蔻.....	147	56. 路路通.....	158

第六节 藤 类

1. 钩藤.....	158	7. 鬼箭羽.....	161
2. 海风藤.....	159	8. 皂角刺.....	161
3. 青风藤.....	159	9. 竹茹.....	162
4. 活血藤.....	160	10. 竹沥.....	162
5. 石楠藤.....	160	11. 槿枝.....	163
6. 木通.....	161		

第七节 皮 脂 类

1. 紫荆皮·····	163	11. 杜仲·····	168
2. 秦皮·····	164	12. 苦楝皮(附: 川楝子)··	168
3. 海桐皮·····	164	13. 厚朴·····	169
4. 黄柏·····	165	14. 桑白皮·····	170
5. 椿根白皮·····	165	15. 乳香·····	170
6. 牡丹皮·····	166	16. 没药·····	171
7. 白鲜皮·····	166	17. 藤黄·····	171
8. 合欢皮·····	167	18. 干漆(煨干漆)·····	172
9. 地骨皮·····	167	19. 白胶香·····	172
10. 肉桂·····	167		

第八章 动 物 类

1. 人指甲·····	172	19. 土鳖虫·····	180
2. 血余炭·····	173	20. 斑蝥·····	181
3. 干蟾·····	173	21. 红娘·····	181
4. 紫河车·····	174	22. 蜈蚣·····	181
5. 鹿角·····	174	23. 蟋蟀·····	182
6. 鹿茸·····	175	24. 蚕砂·····	182
7. 鹿筋·····	175	25. 蜂房·····	183
8. 虎骨·····	175	26. 蛤蚧·····	183
9. 阿胶珠·····	176	27. 虻虫·····	183
10. 象皮·····	176	28. 壁钱·····	184
11. 猴骨·····	177	29. 水蛭·····	184
12. 臙肭脐·····	177	30. 地龙·····	185
13. 穿山甲·····	177	31. 乌梢蛇·····	185
14. 刺猬皮·····	178	32. 蛇蜕·····	185
15. 鸡内金·····	178	33. 蕲蛇·····	186
16. 五灵脂·····	179	34. 龟板·····	186
17. 蝉蜕·····	179	35. 鳖甲·····	187
18. 僵蚕·····	180	36. 珍珠·····	187

37. 石决明.....	188	41. 鱼鳔胶.....	190
38. 牡蛎.....	188	42. 海螵蛸.....	190
39. 瓦楞子.....	189	43. 桑螵蛸.....	191
40. 珍珠母.....	189	44. 望月砂.....	191

第九章 矿物类

1. 朱砂.....	191	13. 信石.....	196
2. 磁石.....	192	14. 玄精石.....	197
3. 自然铜.....	192	15. 赭石.....	197
4. 龙骨.....	193	16. 礞石.....	197
5. 龙齿.....	193	17. 禹粮石.....	198
6. 石蟹.....	193	18. 阳起石.....	198
7. 石燕.....	194	19. 金精石.....	198
8. 炉甘石.....	194	20. 石膏.....	199
9. 硼砂.....	194	21. 磁砂.....	199
10. 明矾(枯矾).....	195	22. 硫黄.....	200
11. 皂矾.....	195	23. 雄黄.....	200
12. 芒硝(附:玄明粉).....	196		

第十章 其他类

1. 猪苓.....	200	5. 雷丸.....	202
2. 海藻.....	201	6. 西瓜霜.....	202
3. 昆布.....	201	7. 百草霜.....	203
4. 人中白.....	201	8. 青黛.....	203

总 论

第一章 炮制的起源和发展

中药在制剂及配制成药之前，大部分需要经过各种不同的方法加工处理。这种加工处理的过程，就叫做“炮制”。

中药炮制学是中医学的重要组成部分，“炮制”在古代一名“炮炙”，或称“修治”。它是根据医疗和制剂需要，研究中药炮制理论、操作技术及其发展等内容的一门实用科学。“炮”和“炙”从字面上讲都离不开火。它反映了古代的制药情况。现代操作方法虽然已经大大发展和改进了，但“炮炙”的名称，仍然不能丢。因为中药炮制方法是根据中药传统理论而制定的。中药炮制不仅实践内容丰富，而且有它的科学依据。药材炮制方法是否合理，直接影响着药品质量的优劣。

中药是人类在找寻食物的过程中发现的。古人在使用药物时，为了便于服食，就必然相应地产生了洗涤、打碎、劈成小块等最简单的加工方法。当人类发明了用火以后，不仅能使生食变为熟食，同时也为药物“炮炙”加工具备了客观条件。到了夏商时代，由于酒醋和油盐的发明，以及人们对烹调技术的掌握，对于制药的发展，又起到了促进作用。由此可知，炮制的起源和发展，既非一个时代所产生，更非某一个人所独创，而是我们的祖先在长期生产、生活实践中总结出来的。在春秋战国时期，我国最早的一部医书《黄帝内经》已有制药的记载。如《灵枢·邪客》篇的半夏秫米汤，其中麻